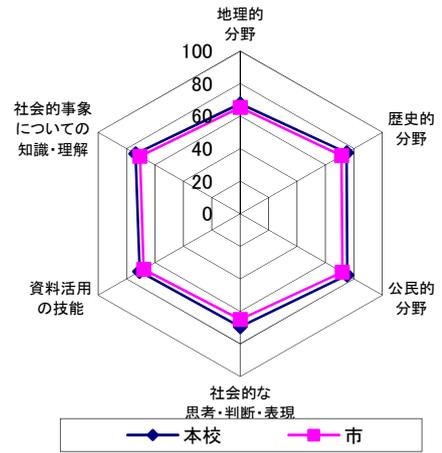


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	67.6	65.4	52.7
	歴史的分野	75.0	71.3	64.1
	公民的分野	75.3	71.8	68.7
観点別	社会的な思考・判断・表現	69.5	64.9	53.5
	資料活用 の技能	70.8	68.0	57.3
	社会的 事象について の知識・理解	73.6	70.6	64.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	<p>地理的分野の平均正答率が67.6%で市平均を2.2ポイント上回った。</p> <p>○思考・判断・表現の観点に関する問題で、既習の知識・技能を活用する問題の正答率が市平均を3～4ポイント上回った。</p> <p>●1年次に学習する世界の諸地域の資料活用の技能に関する問題2問のみが正答率で市平均を1～2ポイント下回った。</p>	<p>・1年次の世界の諸地域の学習において、様々なタイプの資料の見方や読み取りを重点的に指導し、資料活用の技能の基礎を固めたい。</p>
歴史的分野	<p>歴史的分野の平均正答率が75.0%で市平均を3.7ポイント上回った。</p> <p>○思考・判断・表現の観点に関する問題で、既習の知識・技能を活用する問題の正答率が市平均を5～10ポイント上回った。</p> <p>●近代日本と世界の知識理解に関する問題で唯一市平均を下回ったものがあり、また上回ったものも上回り率はごくわずかである。</p>	<p>・2年次終盤に苦しい進度の中で学習を進める近代日本と世界で、知識の定着を図る授業中の小テストの実施や、家庭におけるワーク等の取り組ませ方を見直す必要がある。</p>
公民的分野	<p>公民的分野の平均正答率が75.3%で市平均を3.5ポイント上回った。</p> <p>○思考・判断・表現の観点に関する問題で、既習の知識・技能を活用する問題の正答率が市平均を3.5～6.5ポイント上回った。</p> <p>○現代の民主政治と社会における知識理解は市平均を10ポイント以上上回った問題が3問あった。</p> <p>●憲法改正の手続きについての知識理解の問題は唯一市平均を大きく下回った(-13.9ポイント)。</p>	<p>・3年次の夏休み明けに本格的に学習が深まる公民的分野において、4か月後の私立入試の範囲を確実に学習し、基礎・基本的な知識が理解できるよう、家庭におけるワーク等を使った復習を促す必要がある。</p>